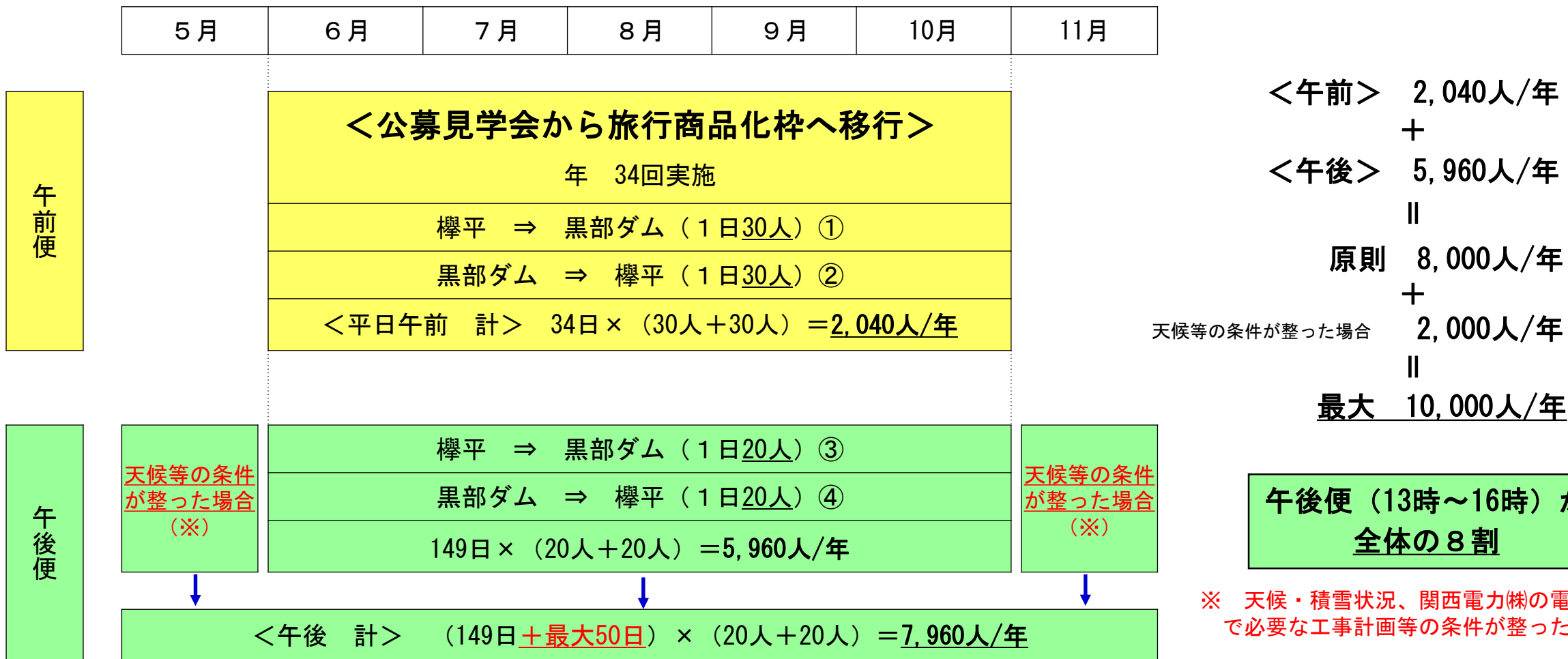


黒部ルートを含む旅行商品について

○一般開放・旅行商品化の規模

平成30年10月、富山県と関西電力株式会社が締結した「黒部ルートの一般開放・旅行商品化に関する協定書」において、年間最大1万人としている。その詳細は、以下のとおり。



黒部ルートを含む旅行商品（造成イメージ）

富山県の「体験型・滞在型」観光を磨き上げ、ルート内の所要時間（約3時間）を考慮し、
宿泊を前提とした旅行商品を想定



【来県手段】

- ・北陸新幹線（東京方面発、関西方面発）
- ・飛行機（新千歳空港発、羽田空港発）
- ・県民を含めた県内発着
- ・インバウンド
（富山空港発着の台湾、上海など）

【販売価格】

ルート内における所要経費を基に積算中

【サービス】

ガイド案内によるコースを基本とする

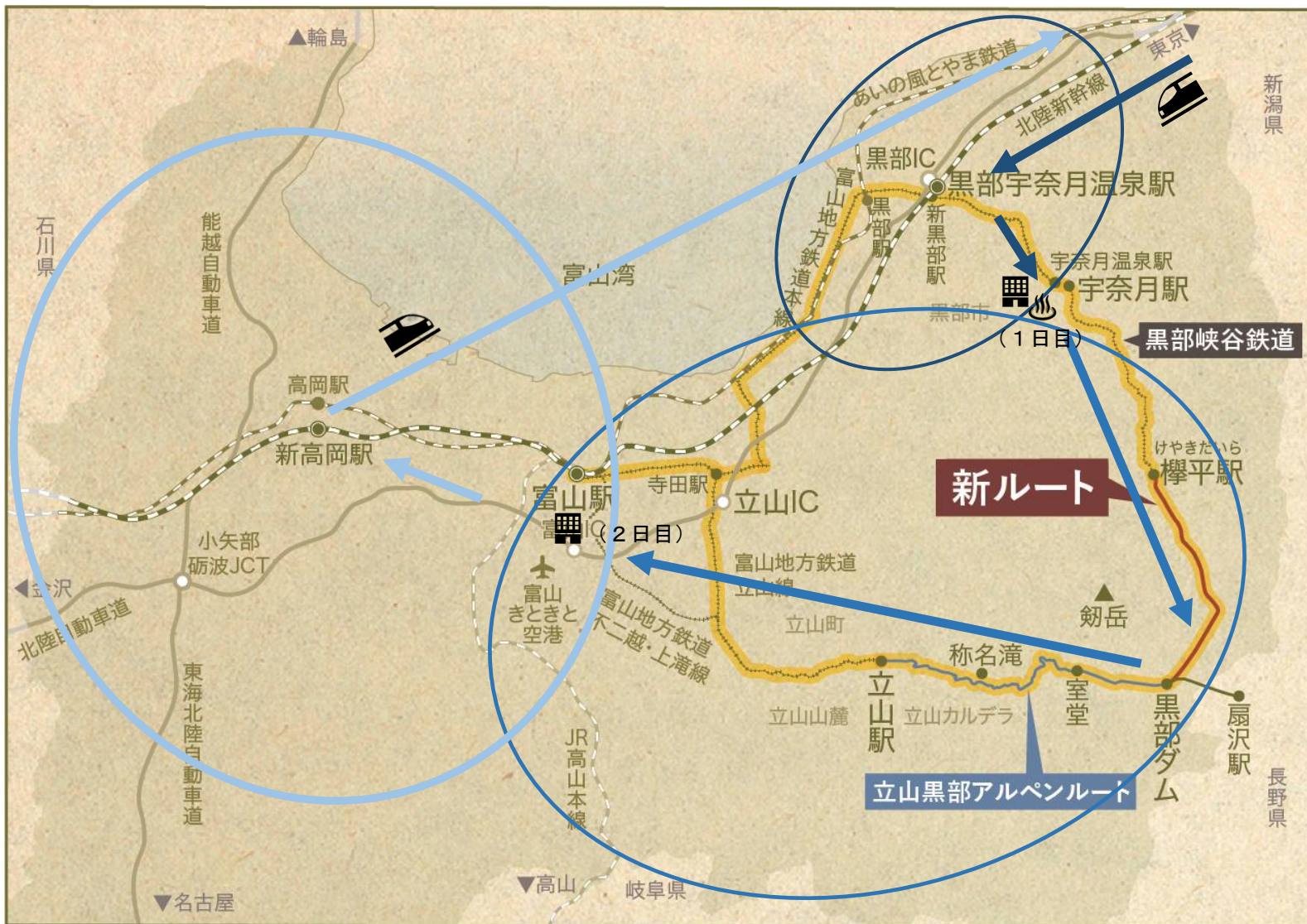
【ポイント】

- ・これまで往復路であった黒部峡谷鉄道が立山黒部アルペンルートと繋がり、黒部峡谷⇒アルペンルート、アルペンルート⇒黒部峡谷のように旅程（楽しみ方）のバリエーションが広がる
- ・高熱隧道やインクラインなど、電源開発の歴史を体感できる

黒部ルートを含む旅行商品（造成イメージ）

○イメージ1（関東方面から北陸新幹線利用（2泊3日））

① 午前櫛平発（1,020人）



1 日 目	東京駅（9時32分発）－【北陸新幹線】－黒部宇奈月温泉駅（11時53分着）－県東部観光地－宇奈月温泉（17時着、泊）
2 日 目	宇奈月駅（8時発）－櫛平駅－ 黒部ルート （10時～13時）－黒部ダム－立山黒部アルペンルート－立山駅（17時7分着）－富山市内（18時30分着、泊）
3 日 目	富山市内（9時発）－富山市内・県西部観光地－新高岡駅（15時1分発）－【北陸新幹線】－東京駅（17時52分着）

【ポイント】

2日目に黒部ルートを紹介して、立山黒部アルペンルートと黒部峡谷を満喫。1、3日目で県内全域の観光が可能。

黒部ルートを含む旅行商品（造成イメージ）

○イメージ3（新千歳空港から飛行機利用（2泊3日））

③ 午後櫛平発（最大3,980人）



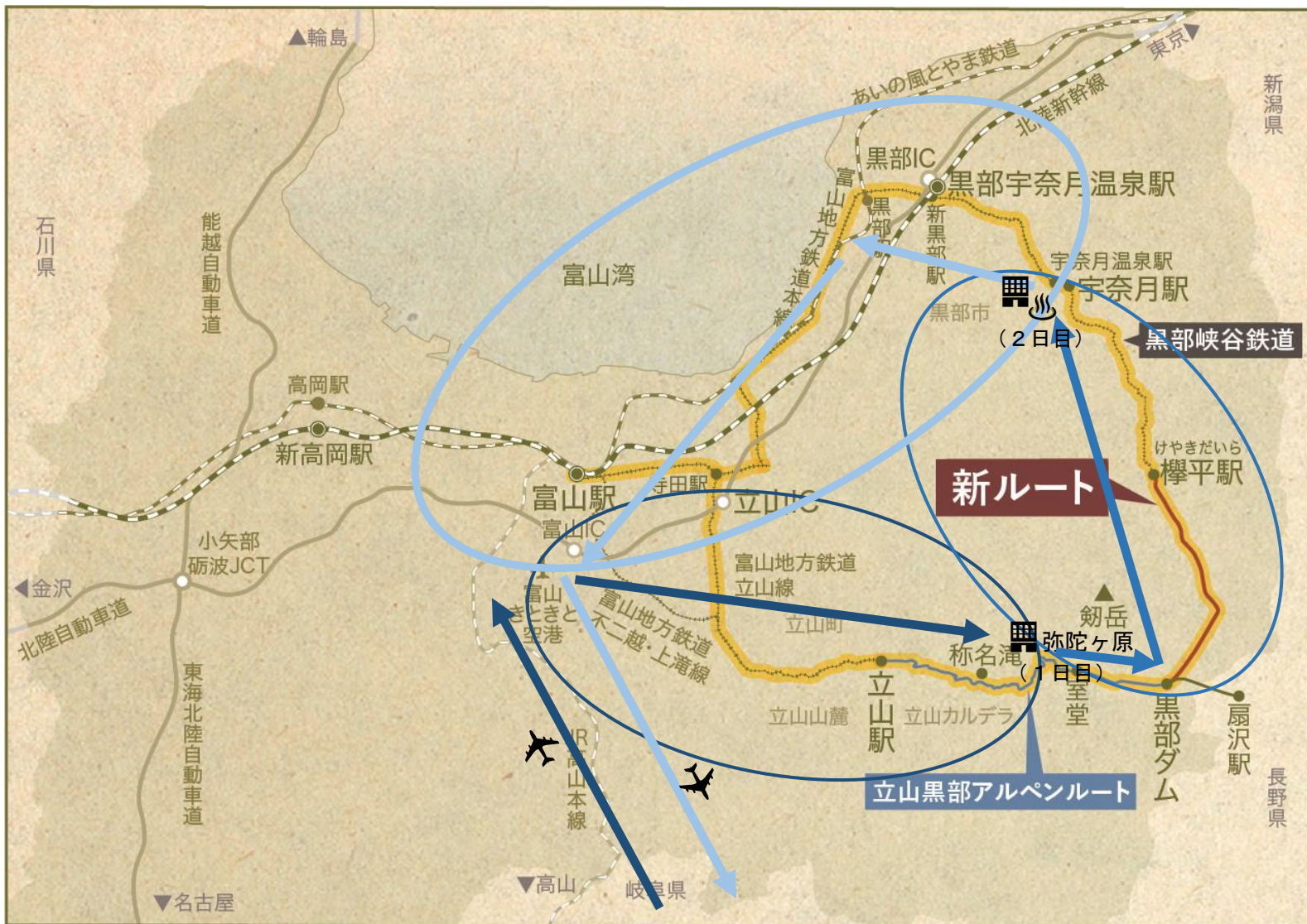
1 日 目	新千歳空港（11時発）－【飛行機】－ 富山空港（12時30分着）－ 県東部観光地 － 宇奈月温泉（17時着、泊）
2 日 目	宇奈月温泉街（散策）－ 宇奈月駅（11時 27分発）－ 櫛平駅 － 黒部ルート （13時 30分～16時30分）－ 黒部ダム － 室堂 （泊）
3 日 目	室堂（9時20分発）－ 立山黒部アルペ ンルート － 立山駅（11時30分発）－ 富山空港（13時20分発）－【飛行機】－ 新千歳空港（14時50分着）

【ポイント】
 地元・宇奈月のガイドから温泉や黒部川
 の歴史等を学び、黒部ルートを体感できる。

黒部ルートを含む旅行商品（造成イメージ）

○イメージ4（羽田空港から飛行機利用（2泊3日））

④ i 午後黒部ダム発（最大3,980人）



1 日 目	羽田空港（10時15分発） — 【飛行機】 — 富山空港（11時15分着） — 富山・立山周辺観光地 — 立山駅（15時40分発） — 立山黒部アルペンルート — 弥陀ヶ原（16時30分着、泊）
2 日 目	弥陀ヶ原（9時30分発） — 立山黒部アルペンルート — 黒部ダム（12時着） — <u>黒部ルート（13時～16時）</u> — 黒部峡谷 — 宇奈月温泉（18時着、泊）
3 日 目	宇奈月温泉（9時発） — 県東部観光地 — 富山空港（18時30分発） — 【飛行機】 — 羽田空港（19時40分着）

【ポイント】
1日目をアルペンルート内や立山駅周辺の宿泊とすることで、立山エリアでの滞在時間を長くすることが可能。

黒部ルートを含む旅行商品（造成イメージ）

○イメージ5（富山県民など県内発着（1泊2日））

④ ii 午後黒部ダム発（最大3,980人）



1 日 目	電鉄富山駅（7時9分発）－【地鉄】－立山駅（8時40分発）－立山黒部アルペンルート－黒部ダム（12時着）－黒部ルート（13時～16時）－黒部峡谷－宇奈月温泉（18時着、泊）
2 日 目	宇奈月温泉（9時発）－宇奈月温泉街－宇奈月温泉駅（11時34分発）－【地鉄】－電鉄富山駅（13時9分着）

【ポイント】
 県民なども参加しやすい行程。
 サービス拡充（車両回送、手荷物サービスなど）による「日帰りコース」も検討中

黒部ルートを含む旅行商品について

○新名称（旅行商品名）について

商品造成を進めている黒部ルート（通称）について、昨年9月～10月に新名称（旅行商品名）案を公募しました。関係自治体・事業者、有識者等で構成された名称選定委員会による選考の結果、「黒部宇奈月キャニオンルート」に決定いたしました。

【選定理由】

- 電源開発の歴史と現地の景観が感じられること。
 - ・ 黒部奥山の厳しい自然環境のもとで工事をしてきたという峡谷感が伝わりやすい。
 - ・ V字峡谷の英訳は「ゴージ」は日本人にイメージしにくく、「キャニオン」のほうが馴染みがある。
- 「キャニオン」のついた名称案の応募数が多かったこと。
- 既に広く周知されている「立山黒部アルペンルート」のように音の響きがあって親しみやすく、新しい観光ルートとして覚えやすいと考えられること。
- 「宇奈月」の名前は響きがよく、来年迎える宇奈月温泉開湯100周年と併せて黒部ルートをPRできること。

(参考)

- ・ カタカナがついた名称案の応募割合
「キャニオン」が最大の34.9%（2,455件）
（その他多いものとして、「ヒストリア」11.6%、「ダム」2.5%、「アドベンチャー」2.4%）
- ・ 地元からは、来年迎える宇奈月温泉開湯100周年と併せて、旅行商品として高い期待を寄せている黒部ルートをPRしたいとの要望あり

黒部ルートを含む旅行商品について

令和6年春に予定されている北陸新幹線敦賀延伸を見据えて、令和6年10～12月に北陸3県で開催される北陸デスティネーションキャンペーン（DC）に先立ち、令和5年秋の全国宣伝販売促進会議（福井県で開催）にてモデルコース等を提示予定

<商品造成に向けたスケジュール（予定）>

	令和4年度												令和5年度				令和6年度										
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	6月										
旅行商品造成	商品企画・造成			モデルコース設定			想定商品ラインナップ設定			価格検討・設定			商品説明（価格等詳細）			秋 全国宣伝販売促進会議	設定日（人数枠）決定		1月 商品販売開始	春 北陸新幹線敦賀延伸	一般開放						
	サービス内容（回送、昼食など）の検討・実証																										
	ガイド養成			ガイド運営主体の選定			現地視察		養成計画作成・ガイド養成開始			ガイド養成			販売会社決定												
販売体制構築・準備																		想定商品ラインナップを旅行会社へ紹介			旅行会社等の観光事業者による現地視察						
プロモーション	県内																		Youtube（現場工事映像）・県民手帳等を活用したPR								
	HP・パンフレットによるPR			新名称を反映させたHP・パンフレットによるPR																							
	全国																		ラッピングトラックによるPR			周年イベントでのPR			モニターツアー実施		
	インバウンド			企画検討・調整			ターゲットエリアを設定したPR（B to B）			ターゲットエリア・北陸新幹線敦賀延伸を活用したPR（B to C）																	

黒部ルートを含む旅行商品について

(参考) 黒部ルートのプロモーションに関する動き

○ フジトランスポート(株)によるラッピングトラックの運行

運送会社のフジトランスポート(株)（本社：奈良市）が県内の観光地や県産米をデザインした大型トラックを導入し、7月12日に県庁で県と出発式を開催。

同社は富山支店の設置に伴い、県の支援を受けて富山市内の用地を購入。富山支店に新型の大型トラックが導入されることとなり、上記の経緯も踏まえ、トラックに富山県をPRするラッピングを施して運行する提案をいただき、ラッピングトラック2台（デザイン：立山黒部（アルペンルート、黒部ルートなど）、富山米「富富富」）を制作。



○ 県酒造組合が黒部ルート的一般開放に合わせてダム熟成酒を販売予定（8月17日付北日本新聞より）

黒部ルート的一般開放に合わせた記念事業として、13酒造の代表銘柄や一押し商品など計1万5千本の貯蔵を計画。今月中に蔵入れし、ルート開放までの1年半ほど熟成させて、一般開放に合わせて販売する予定。